

りんごの斑点落葉病と褐斑病に注意しましょう！

7月上旬に宇都宮市、矢板市でりんごの病害虫を調査した結果、斑点落葉病と褐斑病の発生が平年より多く確認されました（図1、2）。

気象庁発表の1か月予報（7/6～8/5）では、平均気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されており、本病の発生に適した気象であることから、今後も発生が増加することが懸念されます。

これらの病害が多発すると、早期の落葉により品質・収量が低下するおそれがあります。被害を防止するため、適期防除を行いましょ。

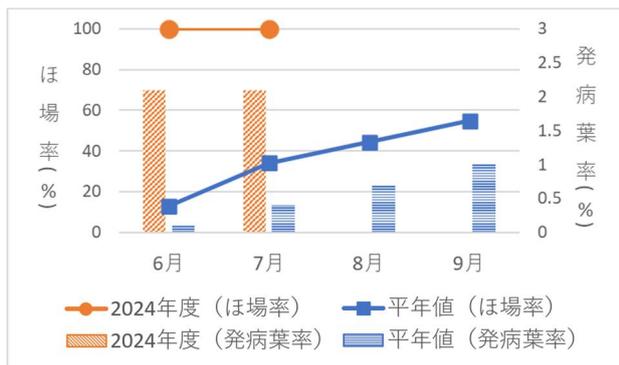


図1 斑点落葉病の発生推移

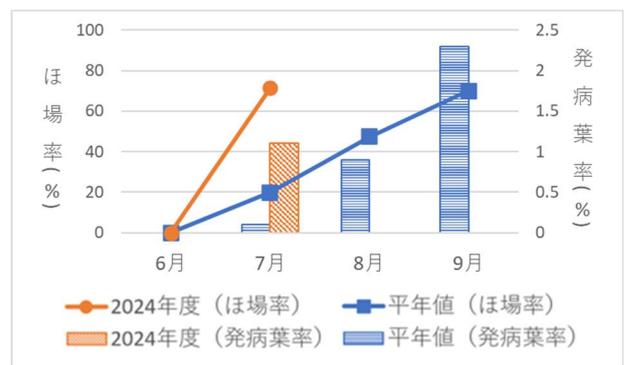


図2 褐斑病の発生推移

1 斑点落葉病と褐斑病の特徴

- ・両病害とも、高温（最低気温が20℃以上）多湿条件で発生が増加する。
- ・両病害とも、初発時は葉に数mmの褐色から暗褐色の円形病斑を形成する（写真1、2）。初期病斑はよく似ているが、**褐斑病は病斑内に虫糞状の黒点小粒（分生子堆）が見られる（写真2）**ことで判別が可能である。



写真1 斑点落葉病の初期病斑



写真2 褐斑病の初期病斑(右下は分生子堆)

- ・斑点落葉病では、円形または不整形に拡大する（写真3）。
- ・褐斑病では、症状が進むと褐色の不整形病斑が見られるようになる。病斑部の周辺はしばらく葉色を残すが、健全部が黄化する（写真4）。



写真3 斑点落葉病の不整形病斑



写真4 褐斑病の黄化症状

2 防除対策

- ・ 予防効果の高い剤を中心に薬剤散布を行う（表1）。発生が見られた場合、治療効果の高い薬剤を使用する。
- ・ 化学農薬に対する抵抗性発達を防止するため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。

表1 斑点落葉病及び褐斑病に登録のある主な薬剤

（令和6（2024）年6月21日現在）

農薬の名称	適用病害名	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数	有効成分の名称	RACコード	効果
ICボルドー412	斑点落葉病	-	20～50倍	-	塩基性硫酸銅	F:M01	殺菌 (予防)
	褐斑病		30～50倍				
アントラコール顆粒水和剤	斑点落葉病	収穫45日前まで	500倍	4回以内	プロピネブ	F:M03	
	褐斑病						
オーソサイド水和剤80	斑点落葉病	収穫前日まで	600～800倍	6回以内	キャプタン	F:M04	
	褐斑病						
キノンドーフロアブル	斑点落葉病	収穫14日前まで	800～1000倍	4回以内	有機銅	F:M01	
	褐斑病						
スコア顆粒水和剤	斑点落葉病	収穫14日前まで	3000倍	3回以内	ジフェノコナゾール	F:3	
	褐斑病		2000～3000倍				
ナリアWDG	斑点落葉病	収穫前日まで	2000倍	3回以内	ピラクロストロピン・ボスカリド	F:11・F:7	
	褐斑病						
ファンタジスタ顆粒水和剤	斑点落葉病	収穫前日まで	3000～4000倍	3回以内	ピリベンカルブ	F:11	
	褐斑病						
フルーツセイバー	斑点落葉病	収穫前日まで	1500～2000倍	3回以内	ベンチオピラド	F:7	
	褐斑病						
ポリオキシンAL水和剤	斑点落葉病	収穫3日前まで	1000倍	3回以内	ポリオキシン複合体	F:19	
	褐斑病						

※RACコードF:3、F:7、F:11は耐性菌発生防止のため、あわせて2回以内の使用とする。

※アントラコール顆粒水和剤は収穫前日数が長い場合、早生品種の場合は収穫日に注意する。

詳細は農業総合研究センター 環境技術指導部 防除課（TEL:028-665-1244）までお問合せ下さい。病虫害情報発表のお知らせは「栃木県農政部 X(@tochigi_nousei)」、農業総合研究センターホームページ（<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>）でもご覧になれます。



6月～8月は「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。
いつものチェック！ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！